

# HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン(資産成長型)

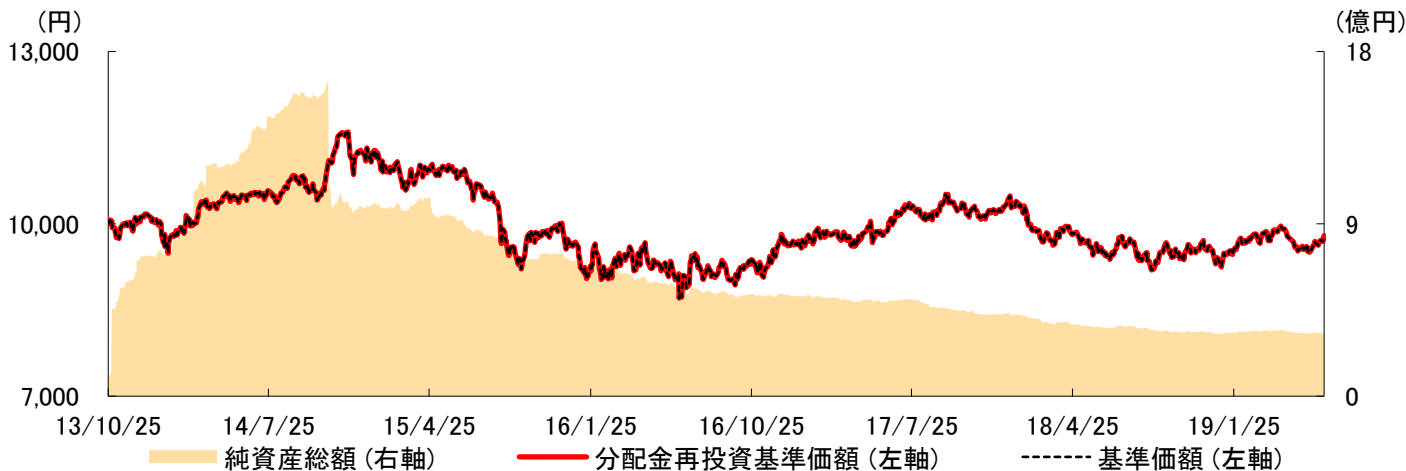


投資信託/総合部門  
優秀賞  
R&I Fund Award 2018

## 追加型投信/海外/債券

投資信託/外国債券総合部門

### 基準価額と純資産総額の推移



\* 基準価額は信託報酬(税込年1.7172%)控除後のものです。分配金再投資基準価額は税引前分配金を再投資したものです。将来の分配金は、運用状況によって変化します。

### 商品概要

商品分類	追加型投信/海外/債券
設定日	2013年10月25日
信託期間	設定日から2021年2月17日まで
決算日	原則、2月17日/年1回決算
信託報酬	税込年1.7172%

### 期間別騰落率(税引前)

1ヶ月	2.9%
3ヶ月	0.2%
6ヶ月	4.1%
1年	3.9%
3年	8.1%
設定来	-2.0%

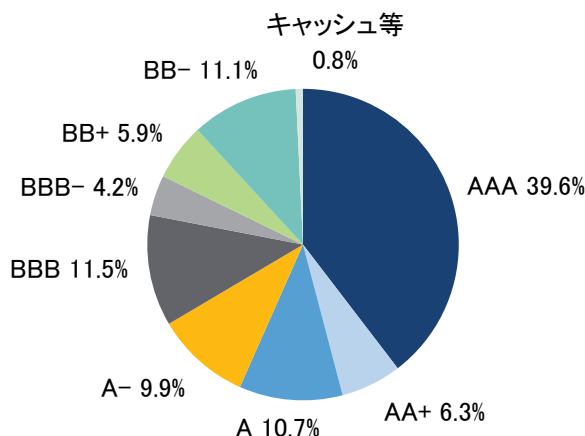
\* 基準価額の騰落率は税引前分配金を再投資したものと計算しています。

### 基準価額等(2019年6月28日現在)

1万口当たり基準価額(円)	9,796
設定来高値(2014年12月8日)	11,599
設定来安値(2016年6月24日)	8,709
純資産総額(億円)	3.2

\* 基準価額は信託報酬控除後のものです。

### 格付別構成比率(2019年6月28日現在)



\* マザーファンドの構成比率です。小数点以下1桁で表示しています。表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。  
格付出所: S&Pグローバル・レーティング、現地通貨建長期債格付

### 税引前分配金の推移(1万口当たり)

決算期	分配金(円)
第1期(14年2月17日)	0
第2期(15年2月17日)	0
第3期(16年2月17日)	0
第4期(17年2月17日)	0
第5期(18年2月19日)	0
第6期(19年2月18日)	0
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
設定来累計	0

\* 将来の分配金は運用状況によって変化します。分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。



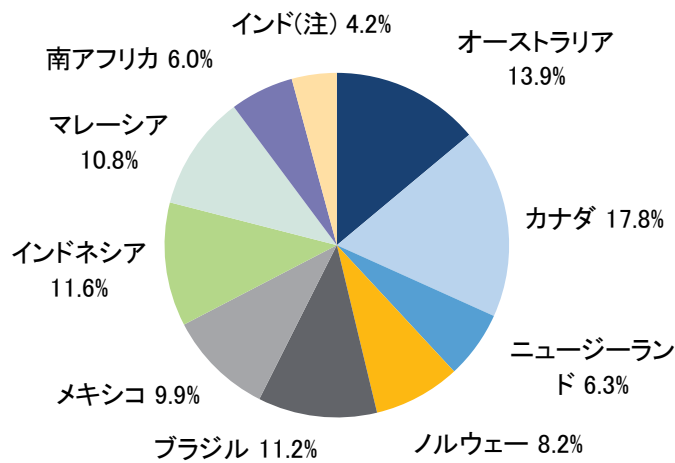
設定・運用: HSBC投信株式会社

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みの際は、「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

# HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン(資産成長型)

追加型投信/海外/債券

## HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンドの状況 (2019年6月28日現在)

国別構成比率<sup>※1</sup>債券ポートフォリオの特性値<sup>※2</sup>

投資国	10ヶ国
債券銘柄数	46銘柄
平均格付 <sup>※3</sup>	A
平均残存期間	8.5年
平均デュレーション	5.8年
平均直接利回り	6.1%
平均最終利回り	4.2%

ポートフォリオの構成<sup>※2</sup>

		平均 デュレーション (年)	平均 最終利回り (%)	平均 直接利回り (%)	平均格付 <sup>※3</sup>	債券組入 比率 <sup>※1</sup> (%)
先進国	オーストラリア	8.1	1.4	3.4	AAA	13.9
	カナダ	6.1	1.7	6.4	AAA	17.8
	ニュージーランド	7.8	1.5	3.5	AA+	6.3
	ノルウェー	2.8	1.3	2.9	AAA	8.2
新興国	ブラジル	2.8	6.1	9.1	BB-	11.2
	メキシコ	6.8	7.7	8.0	A-	9.9
	インドネシア	6.3	7.3	8.5	BBB	11.6
	マレーシア	5.2	3.5	3.8	A	10.8
	南アフリカ	7.2	8.7	8.8	BB+	6.0
	インド(注)	4.4	7.5	7.2	BBB-	4.2

(注) インド債券については、一部HSBC GIF インディア・フィックスド・インカムに投資することがあります。

※1 キャッシュ等を除いた比率

※2 HSBC GIF インディア・フィックスド・インカムの特性値については、2019年6月末のデータをもとに作成しています。

※3 出所: S&amp;Pグローバル・レーティング、現地通貨建長期価格付

\* 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

### 設定・運用: HSBC投信株式会社

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

## HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン(資産成長型)

追加型投信/海外/債券

## ＜ご参考＞投資対象国の国債利回りと為替レート

5年国債利回り<sup>※4</sup>

為替レート(対円)

		2019/5/30	2019/6/27	変化幅
先進国	オーストラリア	1.21%	1.02%	-0.19%
	カナダ	1.45%	1.38%	-0.07%
	ニュージーランド	1.46%	1.31%	-0.15%
	ノルウェー	1.36%	1.27%	-0.09%
新興国	ブラジル	8.00%	7.12%	-0.88%
	メキシコ	7.79%	7.45%	-0.34%
	インドネシア	7.57%	6.91%	-0.65%
	マレーシア	3.57%	3.45%	-0.12%
	南アフリカ	7.60%	7.28%	-0.32%
	インド	6.91%	6.79%	-0.13%

		2019/5/31	2019/6/28	変化率
先進国	オーストラリアドル	75.52	75.49	0.0%
	カナダドル	80.80	82.33	1.9%
	ニュージーランドドル	71.14	72.26	1.6%
	ノルウェークローネ	12.46	12.67	1.7%
新興国	ブラジルリアル	27.45	28.19	2.7%
	メキシコペソ	5.62	5.62	0.0%
	インドネシアルピア <sup>※5</sup>	0.76	0.77	1.3%
	マレーシアリング	26.06	26.02	-0.2%
	南アフリカランド	7.38	7.60	3.0%
	インドルピー	1.58	1.57	-0.6%

<sup>※4</sup> 現地通貨建

\* 表示単位未満を四捨五入

出所:リフィニティブ

<sup>※5</sup> 100インドネシアルピア/円

\* 表示単位未満を四捨五入

出所:投資信託協会

## 6月の基準価額変化の変動要因(1万口当たり)

(単位:円)

		債券要因		為替要因	合計
		価格変動	利息収入		
先進国	オーストラリア	+ 20	+ 2	+ 0	+ 22
	カナダ	+ 8	+ 2	+ 34	+ 45
	ニュージーランド	+ 7	+ 1	+ 11	+ 19
	ノルウェー	+ 3	+ 1	+ 14	+ 18
新興国	ブラジル	+ 21	+ 6	+ 33	+ 60
	メキシコ	+ 25	+ 6	+ 4	+ 34
	インドネシア	+ 38	+ 7	+ 17	+ 61
	マレーシア	+ 9	+ 3	- 1	+ 11
	南アフリカ	+ 1	+ 4	+ 18	+ 23
	その他(注)	+ 5	0	0	+ 5
計		+ 138	+ 30	+ 130	+ 298
その他要因(信託報酬等含む)		-	-	-	- 24
基準価額の変化		-	-	-	+ 274

\* 上記は、T-STARのデータをもとに算出した分配金再投資基準価額の主要項目別変動の概算値であり、確定値とは異なります。円単位未満を四捨五入している関係で、各項目の表示上の合計値が合計欄と一致しないことがあります。

(注) インド債券については、一部HSBC GIF インディア・フィクスト・インカムに投資することがあり、当該部分を原因とした変動要因は「その他」の「債券」部分として計算しています。

## 設定・運用:HSBC投信株式会社

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みの際は、「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

# HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン(資産成長型)

追加型投信／海外／債券

## 【市場動向】

投資対象国の国債市場は堅調に推移し、全ての市場で利回りは前月末比で低下(価格は上昇)しました。

米国連邦準備制度理事会(FRB)や欧州中央銀行(ECB)など世界の主要中央銀行がハト派色(景気を重視する姿勢)を強めるなか、特に米国で利下げが実施されるとの見方が強まったこと、これに伴い複数の投資対象市場で利下げ余地が広がったことが、市場のサポート要因となりました。

投資対象市場の中で、ブラジルでは社会保障制度改革が進展するとの期待感が高まったこと、インドネシアでは中央銀行が利下げの可能性を示したことが好感され、それぞれ国債利回りは大きく低下しました。

投資対象市場の通貨は、対円でみると、インドルピーとマレーシアリングが対円で小幅下落し、オーストラリアドルとメキシコペソは横ばいとなりましたが、その他の通貨は上昇しました。

## 【運用状況】

当月末の当ファンドの基準価額は、前月末比2.9%上昇しました。

## 【今後の見通しおよび投資戦略】

投資対象国のうち、オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、ノルウェーなどの国債利回りは、一般に米国国債との連動性が高いとされています。米国の中央銀行に相当するFRBは、この先の金融政策に関して景気を重視する姿勢を打ち出しており、市場では利下げが実施されるとの期待感が広がっています。このため、これらの市場の国債の利回り上昇(価格の下落)のリスクは後退し、安定的な推移が期待されません。

新興国の国債市場や通貨も、米ドル金利の先安感が生まれるなかで、安定的な推移が見込まれます。特にインド、インドネシア、マレーシア、メキシコなどインフレ率が低下、もしくは低位にある国では、利下げの余地が拡大し、債券利回りの低下(価格の上昇)も期待されます。

なお、リスク要因として、米中貿易問題の先行き不透明感が挙げられますが、両国間の通商交渉で再び緊張が高まるようであれば、新興国通貨の下押し圧力となる可能性があります。

当ファンドのマザーファンドの運用においては、米国の金融政策や通商政策などの外部環境に引き続き留意しつつ、投資対象国の債券および通貨のバリュエーションを勘案し、選別的な投資を継続する方針です。

原則として、債券価格の変動は各国の現地通貨建5年物国債を基準としており、また、債券利回りの月間変動幅は基準日の前営業日の数値を、為替レートの月間騰落率は基準日の数値をもとに算出しています。

※ 将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

## 設定・運用:HSBC投信株式会社

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

# HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン(資産成長型)

追加型投信/海外/債券

## 当ファンドの特色

「HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド」\*への投資を通じて、先進国と新興国の債券に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

\* 以下、「マザーファンド」といいます。

### 1. 先進国通貨建債券および新興国通貨建債券に分散投資します。

- ▶ 今後の世界経済の成長のけん引役になることが期待される国(ニューリーダー)を投資対象国とし、これらの国の債券を中心に投資します。
  - 経済成長により今後さらに需要の拡大が見込まれる資源を持つ国ならびに対外債務残高や投資格付、流動性などを参考に厳選した国の債券等\*に投資します。
  - 先進国と新興国のバランスをとって運用します。
- \* 政府、政府機関、民間企業等が発行した債券、国際機関が投資対象国通貨建てで発行した債券、もしくは政府、政府機関や国際機関等が保証する債券など
- ▶ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

### 2. HSBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッドが運用を行います。

- ▶ 運用委託契約に基づいて、HSBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッドに、マザーファンドの運用の指図に関する権限を委託します。
  - ※運用の指図に関する権限の委託を中止または委託の内容を変更する場合があります。
- ▶ HSBCグローバル・アセット・マネジメントに加え、HSBCグループ内の情報ソースを活用します。

### 3. 年1回の決算時に、分配方針に基づき、分配を行います。

- ▶ 決算日は、毎年2月17日(休業日の場合は翌営業日)です。

市況動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

#### <分配金に関する留意点>

- ▶ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ▶ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ▶ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

設定・運用:HSBC投信株式会社

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

# HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン(資産成長型)

追加型投信／海外／債券

## 当ファンドの主なリスク

投資信託は**元本保証のない金融商品**です。また、投資信託は**預貯金とは異なることにご注意ください**。当ファンドは、主に値動きのある外国の有価証券を実質的な投資対象としますので、組入有価証券の価格変動あるいは外国為替の相場変動次第では、当ファンドの基準価額が下落し、投資者の皆さまの投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの**運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属**します。

金利変動リスク	債券価格は、市場金利の変動等の影響を受けます。一般的に、金利が上昇すると債券価格は下落します。なお、その価格変動は、債券の種類、償還までの残存期間、発行条件等により異なります。
信用リスク	債券価格は、発行体の信用力の影響を受けます。債券等への投資を行う場合には、発行体のデフォルト(債務不履行)により投資資金が回収できなくなることや支払遅延等が発生する場合があります。
為替変動リスク	外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。
流動性リスク	急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。
カントリーリスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または資本取引等に関する規制の変更や新たな規制が設けられた場合には、投資方針に沿った運用が困難になることがあります。 新興国市場は、一般的に先進諸国の市場に比べ、市場規模が小さいことなどから、上記の各リスクが大きくなる傾向があります。
税制変更リスク	投資対象国によっては、非居住者の有価証券投資に対して金融取引税が課されたり、日本との租税条約が無いあるいは適用されない結果、当該国の源泉税が減免されずに課されたりすることがあります。将来、こうした投資対象国の税制が変更された場合など、当該関係法令が改正された場合には、基準価額が影響を受ける可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※上記のリスクをご理解いただき、投資の判断はご自身でなされますようお願い申し上げます。

### 【留意点】

- 当資料はHSBC投信株式会社作成した販売用資料です。当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、主に値動きのある有価証券(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は組入有価証券の値動き、為替変動による影響を受けます。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用成果(損益)はすべて投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。当ファンドの購入のお申込みに関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(クーリング・オフ)の適用はありません。
- 購入のお申込みにあたりましては、投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)を販売会社からお受取りの上、十分にその内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

### 委託会社、その他関係法人

委託会社: HSBC投信株式会社 <照会先>  電話番号 03-3548-5690  ホームページ  
(受付時間は営業日の午前9時～午後5時) [www.assetmanagement.hsbc.com/jp](http://www.assetmanagement.hsbc.com/jp)

投資顧問会社: HSBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッド  
(運用委託先)

受託会社: 三井住友信託銀行株式会社

販売会社: 委託会社の<照会先>でご確認いただけます。

※ 販売会社固有情報(金融商品取引業者(登録番号)、加入協会等)については、当資料内「お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)」のご請求は「」をご覧ください。販売会社は、投資信託説明書(交付目論見書)の提供場所になります。

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが「信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務)であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託／総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の当該ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

## HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン(資産成長型)

追加型投信/海外/債券

## お申込みに関する要項

## お申込みメモ

購入単位	販売会社が個別に定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社が個別に定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目以降に販売会社でお支払いします。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
申込受付不可日	日本国内の営業日であっても、ロンドン、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに該当する場合には、購入および換金の申込受付は行いません。
購入・換金の申込受付の中止および取消し	取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は購入・換金の申込受付の中止および取消しを行う場合があります。
信託期間	2013年10月25日(信託設定日)から2021年2月17日(償還日)まで
繰上償還	ファンドの残存口数が30億口を下回った場合等には、信託を終了させる場合があります。
決算日	毎年2月17日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に収益分配方針に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。分配金の受取方法により、分配金を受取る「一般コース」と分配金を再投資する「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。原則として、収益分配金、換金時および償還時の差益に対して課税されます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。益金不算入制度、配当控除の適用はありません。
その他	基準価額(1万口当たり)は、翌日の日本経済新聞朝刊に「ニユリダ成長」の略称で掲載されます。

## 当ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料	購入時にご負担いただけます。購入金額に、 <b>3.24%*(税抜3.00%)</b> を上限として、販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。 *消費税率が10%に引き上げられる場合は、3.30%になります。	商品内容の説明ならびに購入手続き等にかかる費用
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>0.30%</b> の率を乗じて得た額(換金時)	換金される投資者に換金で生じるコストを一部負担していただくものです。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用(信託報酬)	<b>年1.7172%*(税抜年1.59%)</b> *消費税率が10%に引き上げられる場合は、年1.749%になります。	ファンドの日々の純資産総額に信託報酬率を乗じて得た額とします。ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。
(委託会社)	税抜年0.80%	ファンドの運用等の対価(運用委託先への報酬が含まれます。)
(販売会社)	税抜年0.75%	分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	税抜年0.04%	運用財産の管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
その他費用・手数料	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファンドの保有期間中、その都度ファンドから支払われます。</li> <li>有価証券売買委託手数料/保管銀行等に支払う外貨建資産の保管費用/信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用等</li> <li>振替制度にかかる費用/印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用/監査法人等に支払う監査報酬等(純資産総額に対し上限年0.20%として日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。)</li> </ul> ※その他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率等を記載することができません。	

※ファンドの費用の総額については、投資者のファンドの保有期間に応じて異なるため、表記できません。

